

豊平地区における学校規模適正化の取組
説明会 開催結果概要

【会場：豊平小学校】

開催日：令和7年9月9日(火)18時30分～19時15分

参加者：地域住民・保護者 13名

【会場：旭小学校】

開催日：令和7年9月10日(水)18時30分～19時45分

参加者：地域住民・保護者31名

【説明内容】

豊平地区学校配置検討委員会における協議内容・協議結果について

【参加者からの質問・意見概要】

質 疑	回 答
再編で校区が広くなり、通学距離も長くなると考えられるが、通学安全について、現時点で具体的な対策はあるか。	具体的な安全対策については、再編校の開校準備を進める中で、スクールゾーン実行委員会などで検討していくこととなります。 特に、信号機の設置等ハード面の対策は、各通学路を通行する児童数を見定め得る時期に、具体的な対策の検討開始が可能となる旨、関係機関に確認しております。 そのため、現時点では具体的な対策内容をお示しできませんが、本件は検討委員会の中でも特に時間をかけた協議が行われた内容であり、札幌市及び教育委員会としても重く受け止めておりますので、今後も関係機関や学校、地域と連携し対策を検討してまいります。
再編により指定校が遠くなってしまった場合は、近くの小学校に通学できるよう柔軟に対応し	距離の近い学校に通いたい、通わせたいというお気持ちはよく分かりますし、そのようなご要望を頂くことも多いのですが、通学区域

<p>てほしい。</p>	<p>は地理的な条件のほか、学校規模、地域のつながりなど様々な要素を総合的に考慮した上で設定したものですので、原則的には指定された学校への通学をお願いしております。</p> <p>なお、身体的なものなど個別のご事情によって配慮が必要な方は、通学区域外の通学を特例的に認める手続きもありますので、ご相談ください。</p>
<p>再編後、通学距離が長くなる児童のためにスクールバスを出したらよいのではないか。</p>	<p>札幌市教育委員会では、徒歩通学の目安を小学生は2km、中学生は3kmとしています。</p> <p>再編後の新しい通学区域内で通学距離2kmを超える地点がないため、スクールバスを出すことは難しいと考えています。</p>
<p>再編によって遠い場所から通学することになる場合、交通費の助成があるといい。</p>	<p>新たな小学校の通学距離が2kmの範囲内のため、徒歩以外の交通手段による通学及び交通費助成の対象となる地域はないものと想定しておりますが、通学距離が長くなった場合の通学安全については、引き続き検討していきたいと考えております。</p>
<p>再編校の建設工事はどのように進めていくのか。</p> <p>工事中、グラウンドが使えなくなった場合の対策や教育課程がどうなるかなどを教えてください。</p>	<p>工事の進め方は設計の中で具体化するため、確定的なことは現時点ではお伝えできませんが、現在の校舎で子どもたちに過ごしてもらいながら、グラウンドに新しい校舎を建てることを検討しています。</p> <p>そのため、新校舎の工事開始から現校舎を解体して整備が終わるまでグラウンドの利用に制約が出てくることとなりますが、その間は旭小学校など近隣の学校のグラウンドや公園を借りる想定です。</p> <p>移動の時間が必要となりますが、旭小グラ</p>

	<p>ウンドを利用する場合は、統合校開校前の交流にもなる可能性もあり、一定の制約の中でも楽しく必要な授業が受けられるようカリキュラムを工夫していきたいと考えております。</p>
<p>現校舎の隣で工事を行う可能性があるということだが、登下校時の車両の出入や工事エリアへの立入防止など安全対策はどう考えているか。</p>	<p>児童が通行する登下校時は工事車両が通行しないように配慮し、それ以外でもなるべく人と車両の動線が交差しないよう計画を立てる予定です。</p> <p>また、工事ヤードと現校舎の境界に児童が越えて行きづらい柵を設け立入を防止する考えです。</p> <p>その他、基本設計を進めたのち、具体的に皆様へお示ししたいと思います。</p>
<p>工事期間中、現校舎の風通しが悪くならないか。校舎の暑さ対策はどうなるのか。</p>	<p>豊平小は令和8年度の夏からはエアコン利用が可能となる見込みで、工事期間中の暑さには対応できるものと考えております。</p>
<p>再編校にまちづくりセンターが複合化するということだが、どのような施設になるのか。</p> <p>学校内で人が自由に出入りできる環境になってしまうのか。</p>	<p>学校とまちづくりセンターが同一の建物に存在することになりますが、入口も室内も維持管理も分けて、建物内部でも誰でも自由に行き来できるようにはしない想定です。</p>
<p>跡活用について、公共利用の場合、建物がそのまま使われるのか、新しく建て直されるのか。</p> <p>民間に売却する場合、高いマンションが建つことがあるか。</p> <p>この地域は高い建物が建てられるようになっているのか。</p>	<p>公共利用、民間売却いずれも、現状の建物を利用する場合、建物を解体して新たに建てる場合のいずれもあり得ます。</p> <p>なお、民間売却では、地域の方々と協議をして売却条件を付すことができますが、条件が厳しすぎると売却先が見つからないことも想定されますので、慎重に調整すべきものと考えています。</p> <p>都市計画法など各種法令等に定められた建物の高さの上限、日影の制限などに配慮し</p>

	<p>ながら新しい建物を建てることとなります。</p> <p>なお、この地域には 33m 高度地区が設定されており、最大で 11 階程度の高さの建物を建てることのできるようです。</p>
<p>再編後の小学校の通学路はどうなるのか。</p> <p>通学距離を短くするために北海学園の敷地内を通るようにするのが良いはずなので、北海学園としっかり交渉して、その結果を知らせるべきではないか。</p>	<p>再編後の正式な通学路は、通学する児童の分布、道路の通行状況など考慮して、開校年度が確定した後、開校準備を進める中で決めていくこととなります。</p> <p>検討委員会でも、北海学園の敷地を通ることの是非について多くの議論が交わされ、検討委員会の委員の皆さんと、現地にも実際に足を運んだ上で検討しました。</p> <p>結果、北海学園の敷地内でも車両の往来があること、旭小側への出入にあたって歩道が狭いことなどの課題が確認できたことから、北海学園の敷地を通らず大きい道路を通った方が安全ではないかという意見が出ています。</p> <p>教育委員会でも早い時期から北海学園にご相談し、子どもたちを含めた地域の方の通行には了解をいただいておりますが、車両と子どもの接触事故については懸念されておりました。</p> <p>通行の是非について結論は出ておりませんが、距離を含めた児童の通学安全に配慮すべきというご意見を踏まえて、今後も検討を重ねてまいります。</p>
<p>再編後、最も学校から遠い場合、距離はどのくらいになるのか。</p>	<p>旭小学校の南西の端が再編校から最も遠い地点で、約 1.7km あります。</p>

【豊平小学校長閉会の挨拶】

以前旭小に勤めていたこともあり、豊平小着任前から関心を持って検討状況を見ていた。

検討委員会では、保護者や地域の代表の方々が、今後の子どもたちのために、非常に熱心にご協議していただき、大変ありがたいことと感じていた。

縁あって今年度から豊平小の校長に着任し、地域の方々と一緒に子どもたちの安心安全を日々考えて向き合っていかなければと決意を新たにしたところ。

子どもたちが新たな環境でさらなる成長ができるよう、ご意見やアイデアなどを頂きながら、子どもたちと地域のために皆様と協力して取組を進めてまいりたい。

【旭小学校長閉会の挨拶】

旭小校長として新校舎が豊平小側にできるということについては、地域の方々と同様、寂しいという気持ちは正直あるが、児童数の減少に伴う課題解決に向けて、教育活動が適正に行われるような取組は必要なことであると思っている。

新しい学校が子どもたちにとって大きな希望となり、学校に通うことが楽しみになるよう、また、子どもたちが水車町、旭町、そして豊平に愛着と誇りを持ち、この地域で育って良かったと思えるよう、地域の皆様にもご協力・ご支援をいただきながら取組を進めてまいりたい。